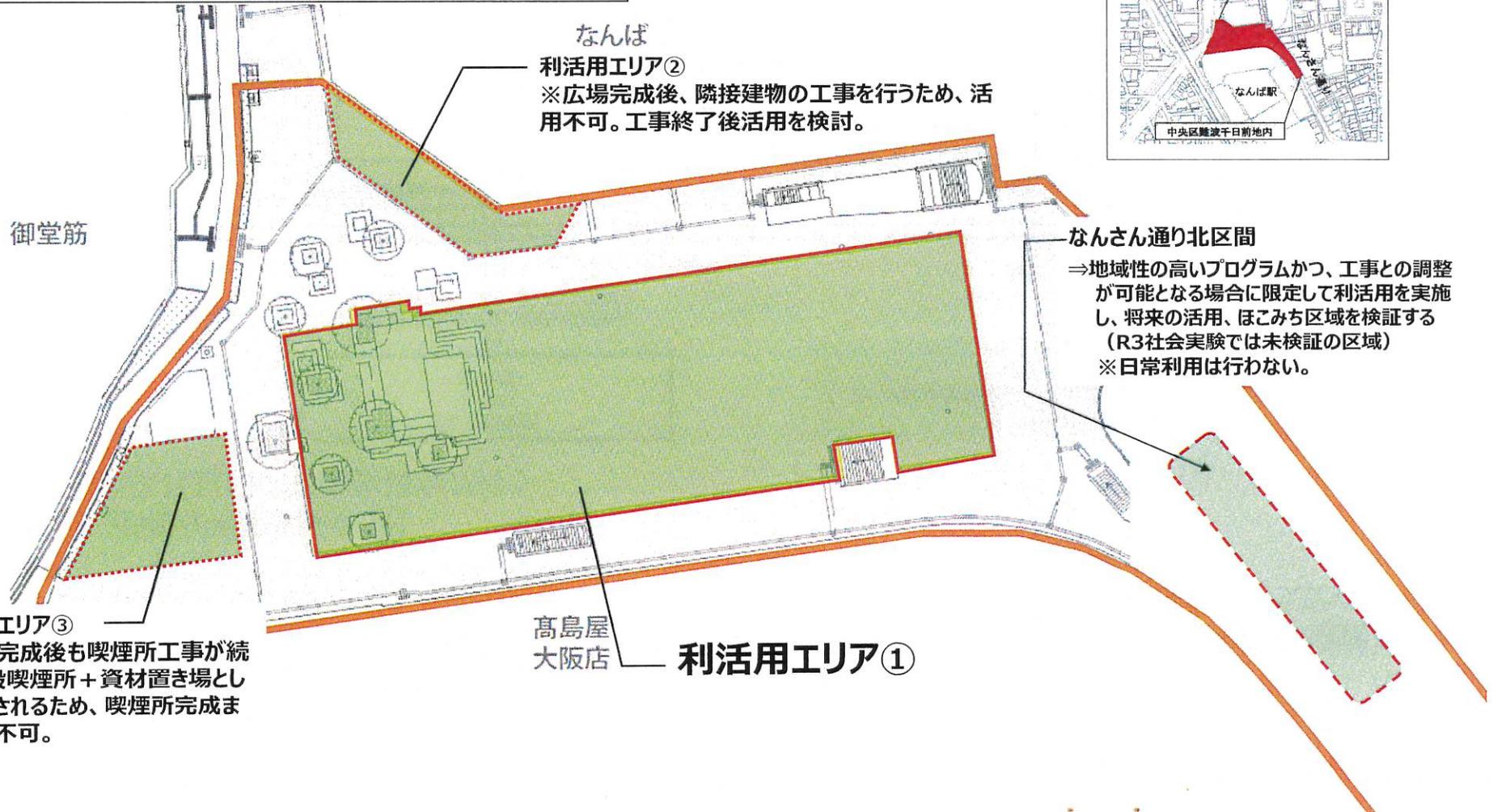


■ 広場オープン直後の占用エリア

・広場オープン直後は利活用エリア①のみで活用を行う。利活用エリア②③については関連工事が終了次第活用予定。



※協定範囲は、ほこみち道路指定区間と同一とし、社会実験において、ほこみち区域の検証を実施



■ 利活用実績

- ・大阪市との官民連携体制のもと、地域行事を中心にオープン～2月までの間で12回イベントを実施。（雨天中止1回）
- ・活用においては道路上での催事実施に対する各種制約（警察指導）の厳しさが課題として認識された。
- ・引き続き利活用実績を重ね、地域の賑わい創出のための柔軟な広場活用ルールの形成をめざす。

	実施日	開催時間	催事名称	実施主体
1	2023/11/23	14:00-17:00	なんば広場オープニングセレモニー	なんば広場マネジメント法人 設立準備委員会
2	2023/11/25-26	10:00-20:00	道頓堀リバーフェスティバル	(一社)大阪活性化事業 実行委員会
3	2023/11/30	10:00-16:00	戎橋筋商店街体験博 なんば広場スケッチ会	戎橋筋商店街振興組合
4	2023/12/2	9:30-11:00	ミナミベっぴんプロジェクト	ミナミまち育てネットワーク
5	2023/12/2	13:00-15:00	戎橋筋商店街体験博 なんば広場見学会	戎橋筋商店街振興組合
6	12/2～31	17:00-23:00	大阪光の饗宴 御堂筋イルミネーション	大阪光の饗宴実行委員会
7	2023/12/8	12:00-13:00	戎橋筋商店街体験博 ランチタイムコンサート	戎橋筋商店街振興組合
8	2023/12/15	8:00-8:30	戎橋筋商店街体験博 ラジオ体操※雨天中止	戎橋筋商店街振興組合
9	2023/12/17	8:00-8:30	戎橋筋商店街体験博 アウトドアヨガ	戎橋筋商店街振興組合
10	12/31	11:00-0:15	なんばカウントダウンパーティ	(一社)大阪活性化事業 実行委員会
11	2024/1/10	13:00-13:30	宝恵駕行列	宝恵駕振興会
12	2024/2/9-11	11:00-21:00	ワラウオオサカ	大阪府・大阪市・ 大阪文化芸術事業実行委 員会（企画制作：吉本興 業）
13	2024/2/22	13:30-15:00	Feel Like Ninja.222 Live	主催：伊賀市・甲賀市ほか 共催：大阪観光局 ¹⁷



11/23
なんば広場オープニングセレモニー



11/25・26
道頓堀リバーフェスティバル



11/30
なんば広場スケッチ会



12/2
ミナミべっぴんプロジェクト



12/2
なんば広場見学会



12/2～12/31
御堂筋イルミネーション



12/8
ランチタイムコンサート



12/17
アウトドアヨガ



12/31
なんばカウントダウンパーティー



1/10
宝恵駕行列



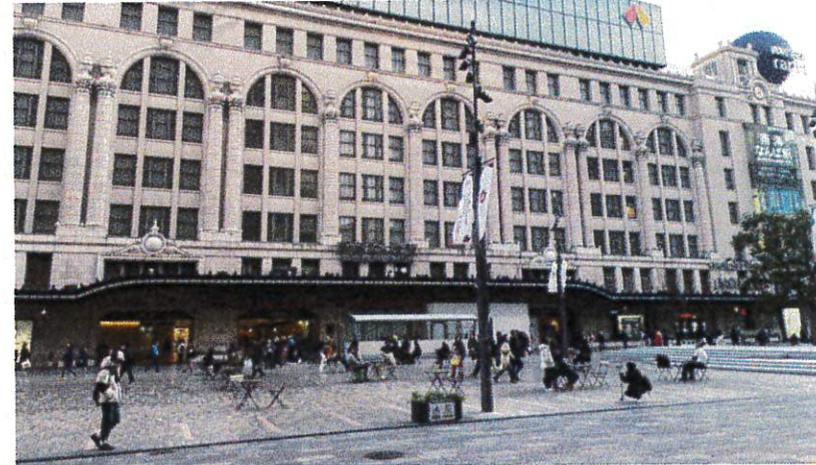
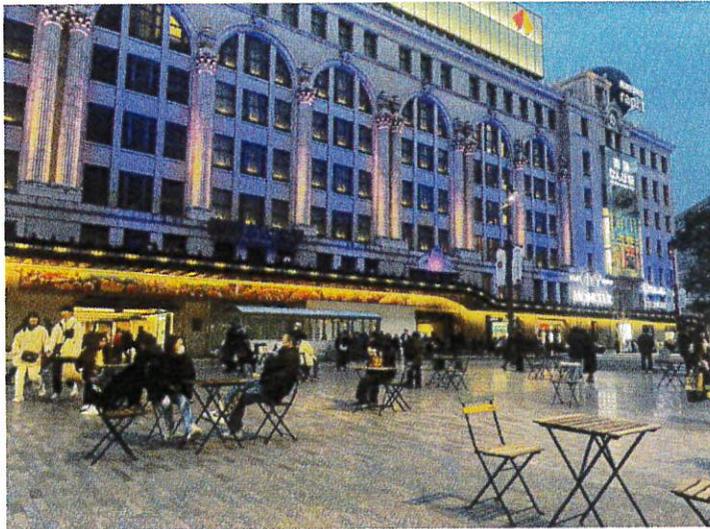
2/9-11
ワラウオオサカ



2/22
Feel Like Ninja.222 Live

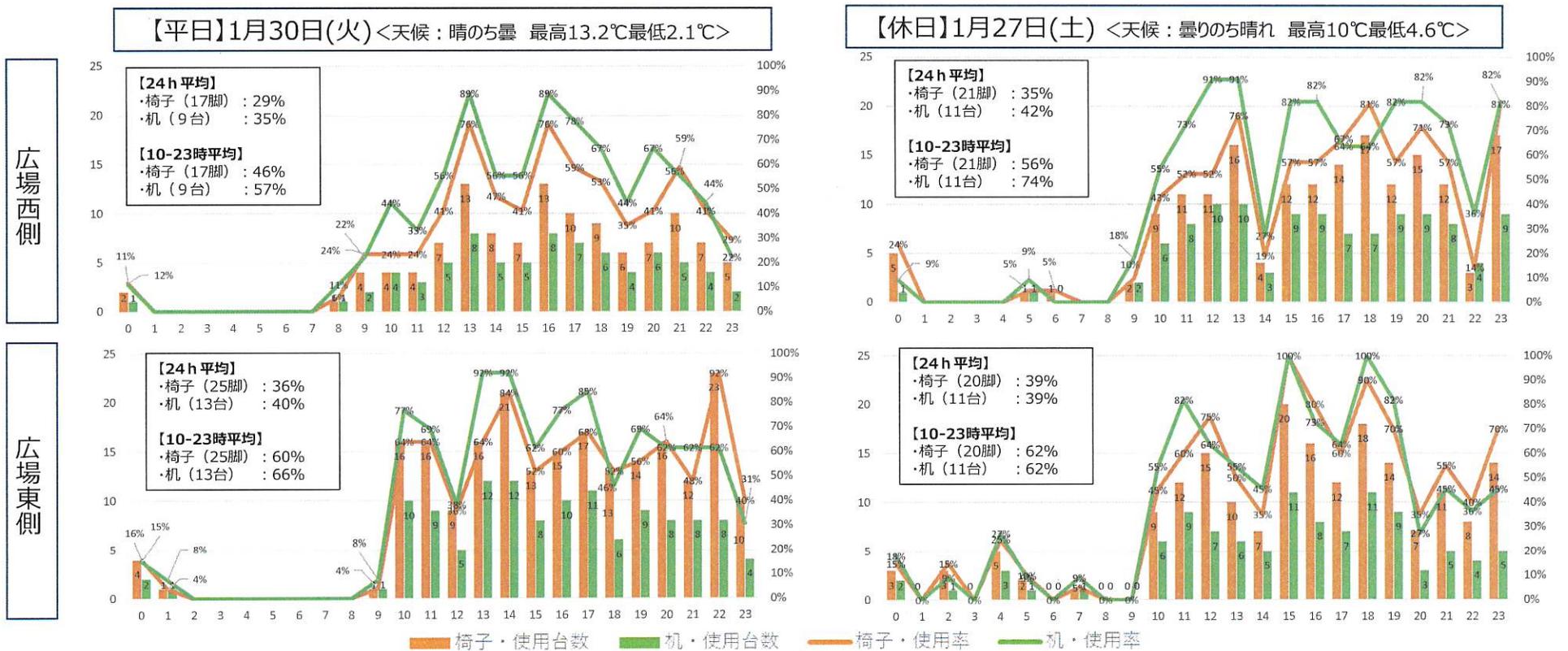
■ 滞留空間創出の取り組み

- ・滞在快適性の向上、おもてなし玄関口にふさわしい日常空間づくりに向け、来街者が自由に使える机椅子セットを配置
- ・机椅子のニーズの検証や設置による効果について検証する。
- ・設置期間：1月19日(金)～2月15日(水) 24時間配置
⇒一時撤去していたが、3月中目途に再度設置予定(5月末まで)
5月末以降も設置可能となるよう引き続き警察と協議していく



■ 滞留空間創出の検証状況

- ・人々の活動時間帯となる10時以降の平均利用率（10時～23時）は約50%～70%であった。
- ・休日15時台・18時台では椅子の利用率が100%となる時間帯がみられるなど、冬季にも関わらず多くの方に利用されており、利用ニーズがあることが確認できた。
- ・平日・休日ともに、0時以降は利用率が減少するものの、休日の広場東側では一定の利用者もみられた。
- ・1月23日と2月1日に椅子2脚の破損を確認したが、故意による破損ではなく、準備委員会にて椅子の撤去を行った。その他紛失等のトラブルは発生しなかった。



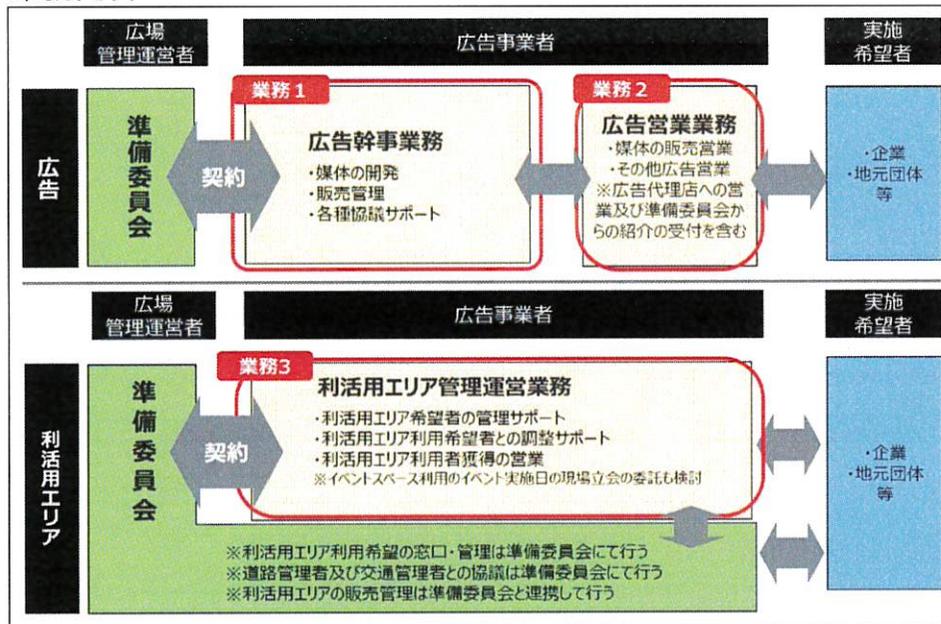
(3) 持続可能な運営に向けた 財源確保について

■「なんば広場運営社会実験における広告販売管理等業務プロポーザル」

【事業目的】

社会実験では、なんば広場の適正な維持管理のために必要となる費用を賄うための持続可能な収益事業に関する検証を実施するべく、広告事業（イベントスペース利活用を一部含む）の検証パートナーの公募を実施。選定事業者は、下記「業務内容」における業務1から3について社会実験事務局のサポート的立場として参画。なお、得られた財源の使用用途(地域環境保全の実施費等)は公開することを想定。

業務内容



【プロポーザルスケジュール】

12月8日	公募開始
12月14日	質問の受付期限
12月19日	質問の回答
12月21日	参加表明書の受付期限
1月16日	企画提案書提出期限
1月19日	審査(申し込み多数の場合書類選考)
1月26日	審査(プレゼンテーション) →最優秀企画提案者(優先交渉権者)決定、結果通知
3月上旬	契約
3月上旬～5月	設置物・広告協議→設置物工事・営業活動
5月以降	広告事業開始(予定)

【プロポーザル結果】

- 説明会参加社数
21社
- 応募のあった事業者数
6社
- 最優秀企画提案者
株式会社Cyujo (チュウジョ) 他6社からのJV
 ※Web制作業務、Webサイト保守・更新・運営管理業務
 「Osaka Free Wi-Fi」整備計画推進委員会事務局
 ※広告事業実施に向けて協議中

21→6→1

(4) 課題・対応と今後のスケジュールについて

社会実験開始以降、各検証項目については実績を重ねつつ、利活用の柔軟性や広場管理運営のための財源確保、情報発信において課題が出ている。

- ・ 活用においては道路上での催事実施に対する各種制約（警察指導）の厳しさが課題として認識された。
 - ⇒① 実施上のハードルが多く課されることで、広場の目的の一つである賑わいづくりや地域回遊拡大が十分にできていない。
 - ② 柔軟に催事の受け入れができないことで、広場の安全安心のための取組み（清掃・警備・自転車対策等）の原資となる維持管理協力金を得るための検証が十分に行えない。
- ・ 安全安心のための取組みや催事情報の地域への発信が十分にできていない。



- ・ 引き続き行政と連携して実績を重ねることで、適正な催事実施のノウハウを獲得し、それを広場使用ルールに反映することなどを通して、警察の信頼を高め、柔軟な広場活用ルールの形成をめざす。
- ・ ホームページの改修などにより、地域への情報発信を強化する。

・社会実験期間については、下記のとおり大阪市と協議の上定めた。本格運用開始時期については協議中。

①社会実験期間：2023年11月23日～2024年度末

②本格運用：2026年度～（予定） ※ほこみち事業者による運営開始時期

※万博期間を含む2025年度については、大阪市との間で取扱を継続協議。

